

# 今後の新型コロナウイルスワクチン接種について

## 新たにオミクロン株対応ワクチンも

問い合わせ 健康推進課（東8南13、保健福祉センター内、☎25・9721）

### 接種期間の延長について

新型コロナウイルスの接種期間は令和4年9月末までとなつていましたが、国は、オミクロン株対応ワクチンの接種開始などに伴い、接種期間を令和5年3月末まで延長する見込みです。

### オミクロン株対応（BAI対応型）ワクチン

新たなワクチン※は、今後の変異株に対しても有効である可能性がより高いと期待されています。 ※従来株とオミクロン株（BAI）に対応した2価ワクチン（ファイザー社製とモデルナ社製の2種類）。

### 接種対象者と接種券

初回（1・2回目）接種を完了した12歳以上の人が対象です。なお、オミクロン株対応ワクチン接種は、現時点では1人1回の実施となる予定です。

接種券は接種時期に合わせて送付します。なお、3回目、4回目を未接種で、接種券が手元にある場合は、接種対象となった順にその接種券で接種が可能です。

△新型コロナウイルスは、インフルエンザワクチンと間隔を空けずに接種することが可能です。

586 ナビダイヤル0570・015・

詳しくは帯広市新型コロナウイルスコールセンターへお問い合わせください

### 5〜11歳（小児）のワクチン

オミクロン株流行下での新たな知見を踏まえ、接種の努力義務が適用されました。ただし、接種が強制されるものではなく、本人・保護者の判断の下、接種をご検討ください。

### 小児の追加（3回目）接種

2回目の接種から5カ月経過した5〜11歳の人を対象に、追加（3回目）接種を行います。対象者には個別に接種券を送付します。

586 ナビダイヤル0570・015・

詳しくは帯広市新型コロナウイルスコールセンターへお問い合わせください



# 10月15日〜31日は 秋の火災予防運動

## お出掛けは マスク戸締り 火の用心

問い合わせ 帯広消防署指導課（西6南6、消防庁舎1階、☎26・9131）

防火意識の向上のため、秋の火災予防運動期間中に、さまざまな取り組みを行います。

### 学校・企業との火災予防連携

①学生による火災予防広報 帯広三条高等学校の生徒の協力により作成した、火災予防のチラシを職員で配布します。

### ②タクシーへのポスター掲示

十勝地区ハイヤー協会の協力の下、啓発ポスターを車内に掲示します。

掲載期間 10月15日（土）〜翌年3月31日（金）

### 要配慮者世帯の防火訪問

消防職員、女性消防団員が一人暮らしの高齢者世帯を訪問し、火の用心を呼び掛けます。

※新型コロナウイルス感染症の影響により、消防ふれあいフェアなどの中止・縮小をする場合があります。



▲はしご車

### 3年ぶり!! 消防ふれあいフェアの開催

放水体験など、さまざまなイベントを用意して、皆さんのお越しをお待ちしています。

日時 10月15日（土）、10時〜12時  
場所 イトーヨーカドー帯広店（稲田町南8線）

## 大切な人の命を守るのはあなたです

住宅用火災警報器は、条例によりすべての住宅に設置が義務付けられています。また、設置している警報器は、半年に一度は点検（ボタンを押すかひもを引く）を行いましょ。



### 点検・取り付けを支援します

点検や取り付けに自信がない家庭には、消防職員がお手伝いに伺います。住宅用火災警報器をあらかじめ購入した上で、帯広消防署指導課までご連絡ください。

### 市長コラム

## 夢かなうまち おびひろ

### 多様性

帯広市長 米沢 則寿



かになり、一人ひとりが求めるものも多様化する中、改めて、内向きの閉じられた思考や環境だけでは、対応できない時代が到来していると感じます。

市では3年前から、十勝・帯広に共感・共鳴してくれる域外の「ファン」の視点を、まちづくりに活かす取り組みを始めています。7月末に東京で開催した「ファンミーティング」では、このまちの魅力発信などについて、熱心に議論いただき、新たにファンクラブも組織されました。

また、民間団体と協働して、百人を超える全国各地の大学生が、十勝・帯広に滞在し、地元企業と接点を持ち、課題解決にチャレンジするプロジェクトなども実施しています。

これらは、いずれも「十勝・帯広を良くしたい」という前向きな共通の思いを持ちながら、ここで暮らす私たちとは違う視点をもたらし、視野を広げてくれる取り組みとなつていきます。

従来から続いてきたサービスや手法が瞬く間に陳腐化してしまう時代。自分一人が持ち得ている知識や経験には、自ずと限界があります。私は、そうした時代に、いち早く対応していくためには、それぞれの経験やスキル、意見が異なつていても、ポジティブに考え、行動する多様な人々と議論し、ともに取り組む姿勢が必要だと考えています。

異なる経験や価値観などを尊重する「多様性」を大切に、「人」と「人」とをつなぎながら、新たな関係性を築いていくことが、これから一層重要となつてくるのではないのでしょうか。